

9月の農作業

平成20年9月10日
J A テラルル 越前
奥越農林総合事務所

今月のポイント

適期刈り取りと乾燥調整
土づくりでグレードアップ
大麦の圃場準備、適期播種
大豆・ソバの害虫防除
ネギ・つるありインゲンの
適期収穫

1. 今後の気象予想（新潟地方気象台）

北陸地方 1か月予報

8月30日から9月29日までの天候見通し

予想される向こう1か月の天候

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は日数の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の気温は高い確率50%です。

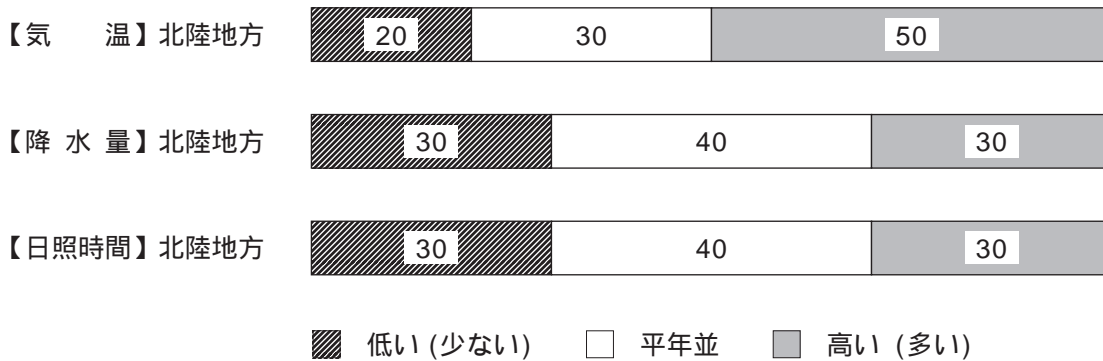
週別の気温は、1週目は平年並または高い

確率ともに40%、2週目は平年並または高い

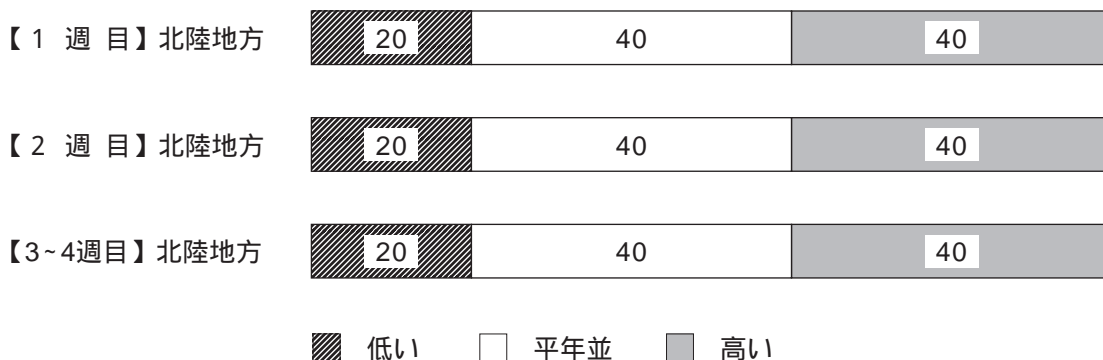
確率ともに40%、3〜4週目は平年並または

高い確率ともに40%です。

向こう1か月の気温・降水量・日照時間の各階級の確率（%）



気温経過の各階級の確率（%）





予報の対象期間	
1 か月	8月30日(土) ~ 9月29日(月)
1 週目	8月30日(土) ~ 9月5日(金)
2 週目	9月6日(土) ~ 9月12日(金)
3 ~ 4 週目	9月13日(土) ~ 9月26日(金)



北陸地方3か月予報

9月から11月までの天候見通し

予想される向こう3か月の天候

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は高い確率50%です。

【9月】

天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は高い確率50%です。

【10月】

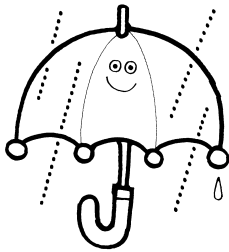
天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は高い確率50%です。

【11月】

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は平年並または高い確率ともに40%です。



向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)

【気 温】

【北陸地方】	3か月	9月	10月	11月
	20	30	50	
	30	40		40

【降 水 量】

【北陸地方】	3か月	9月	10月	11月
	30	40	30	
	40	30		40

■ 低い(少ない) □ 平年並 ■ 高い(多い)

2、農作物対策

水 稲

1、乾燥・調整

乾燥調整の注意点

まず、乾燥水分を16.0～16.5%に設定し乾燥を開始する。設定水分まで仕上がったら最後は手持ちの水分でこまめに測定・確認し15%に仕上げ乾燥をする。

乾燥後の水分過多に注意。

仕上げは15.0%

(収穫した籾に青籾混入が多い場合は乾燥後水分の戻りが発生し易い)

過乾燥は胴割れ米の原因となり、また食味を落とす原因となりますので、玄米水分を15.0%に

仕上げてください。

乾燥後、穀温が高いときは肌ずれ米や胴割れ米の発生がしやすいので、充分に穀温を下げてから籾摺りを行う。

籾混入率が高くないように注意する。また、籾高や胴割れ米の発生原因として、籾摺り機のローラーの消耗によるものが多いので、使用前に必ず点検をしてください。

2、土づくりで

地力を高める

おいしい、売れる米作りの基本は、土づくりからです。籾刈り後早期に土づくり資材を施用して、耕起してください。

水稻栽培日誌の記帳・提出について

出荷対象者で栽培日誌の未提出者は、早急に各支店まで提出してください。

大 麦

1、圃場準備

麦は湿害に弱いため、圃場は稲刈り後早急に溝を切って排水に努め、軟らかい圃場は無理に耕起しないで、圃場が乾いてから行ってください。

2、種子消毒

ベンレートT水和剤20
200倍 24時間浸漬 または
種子重量の0.5%粉衣

3、適期播種

品質向上・硝子質粒防止対策として10月10日～20日頃に播種します。「山間地は10月5日～15日頃」特に、耕起と播種は圃場が乾いた時に、同日に行ってください。

播種量

散播、条播 ともに

6～7kg/10a

4、施肥基準

分施肥系

元肥 複合高度444

条播 20 ～ 25 kg / 10 a

元肥 複合高度444

散播 30 kg / 10 a

一発肥料体系

スーパーSRコート麦一発

35 kg / 10 a



大豆

1、害虫防除

9月中旬頃までシロイチモジマ
ダラメイガやハスモンヨトウによ
る被害が予想されますので、再度
防除を行ってください。

エルサン乳剤

1,000倍・100 ～ 300 ℓ / 10 a

収穫7日前まで

使用回数本剤2回以内

トレボン粉剤DL

4 kg / 10 a

収穫14日前まで

使用回数本剤2回以内

スミトップM粉剤

3 ～ 4 kg / 10 a

収穫21日前まで

使用回数本剤4回以内

(紫斑病・マメシクイガ・カ
メムシ類に登録あり)

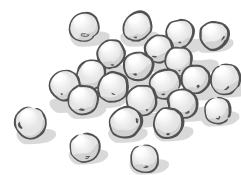
2、適期刈り取り

刈り取り時期は完全に落葉し、
ほとんどの莢がカラカラと音がす
る時期で、なるべく午前中に収穫
してください。

コンバインによる収穫は、汚損
粒・着色粒を防ぐため、手狩りよ
り少し遅れて、茎がポキポキ折れ

るようになってから行ってくださ
い。また、青立ちしている茎は収
穫前に取り除いておいてください。

そば



1、害虫防除

ヨトウムシ類

ヨトウムシの早期発見、適期

防除に努めてください。

ロムダンフロアブル

2,000倍・150 ～ 300 ℓ / 10 a

収穫21日前まで

使用回数本剤2回以内

ゼンターリ顆粒水和剤

2,000倍・150 ～ 300 ℓ / 10 a

収穫前日まで

使用回数本剤4回以内

耕起・刈り取り作業時の注意事項

トラクター、コンバイン作業時で道路を移動するときは、タイヤ・
キャタピラに付いた泥で道路が汚れないようご注意ください。

泥が多く付いているときは一度、車輪を洗浄してから移動するようにしてください。

機械作業は最も災害の危険性が高い作業です。

事前の機械整備と共に十分な安全を確認して作業を行ってください。

里いも

子いも、孫いもの肥大期に入っています。良質の里いも生産のために、次の管理を行ってください。

1、手直し

根元の浅くなっているところは、必ず土寄せを行う。

2、子ズイキ刈り

発生がみられたら早めに刈り取る。



3、害虫防除

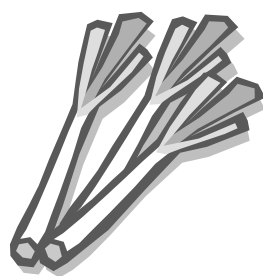
病虫害名	防除時期	薬剤名	使用濃度	10 a 当り 使用量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数
アブラムシ	生育中	DDVP 乳剤 50	2,000倍	-	3日	6
		エルサン乳剤	2,000倍	100 ~ 300 ℓ	7日	1
ハダニ	生育中	ニッソランV乳剤	1,500倍		7日	2
ハスモンヨトウ	生育中	エルサン粉剤 2	-	3 kg	7日	1
		エルサン乳剤	1,000倍	100 ~ 300 ℓ	7日	1
		トレボン乳剤	1,000倍	-	14日	3

晴天が続き土が乾くときは、3日～4日に一度は灌水を行いましょう。

白ネギ

収穫

- ・最終土寄せより20日後が収穫期の目安となる。
- ・試し掘りをして、軟白長が30 cm 以上になってから収穫する。
- ・葉折れ防止のため、収穫後少し乾かし、皮むき作業を行う。
- ・根は短く切るが茎盤部は残す。



ナス

整枝・剪定

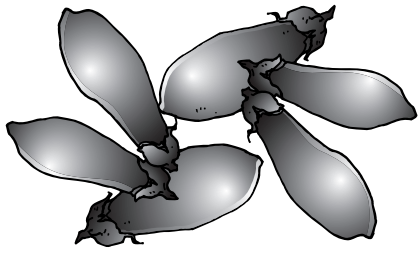
9月下旬以降は原則として放任だが、果実の収穫の見込めない側枝は間引き剪定する。

敷きワラ

低温が続くと生育および果実の肥大が抑制されるので、地温の上昇を図るために枝、古葉を取り除き、地表面の日当たりを良くする。敷きワラは地温の上昇を妨げるので除去する。

追肥

花数、果実数が少なくなり吸肥量も減少するので、10〜15日間隔で追肥する。



花卉

キク

9月は暮れ植えの圃場作りです。

稲刈り作業と重なりますので、計画的に行いましょう。

まず、圃場作りから定植までの日程を計画して、出来るだけ早めの作業をしましょう。定植の遅れは、春の芽立ちに直接影響があります。

暮れ植えの管理

圃場準備

キクは排水の良い土を好み、耕土の深いところが作りやすい。秋の天気は変わりやすいので、土が乾いたら、耕起と畝作り作業を一気に済ませます。

畝作りをする時は、排水溝を耕

盤以下にして、降った雨を一気に排水出来るようにすること！キク作りは排水によって決まるともいえます。畝は出来るだけ高畝にしておくこと。

施肥と均平整地

(定植前10日以上)

30m畝で有機ペレ5〜7kgの施肥。

肥料は畝の中央に浅く溝をかいて施します。

施肥後は畝面を均平に整地しておく。高い所とか低い所があるとキクの生育にムラが出来、低い所は芽立ちが悪くなります。

除草剤(定植前1〜2日)

畝作りを終えたら、降雨後土が湿っている間に散布します。土が乾いていると除草効果が落ちます(浸透しない、広がらない)。畝に

雑草の芽が出るのをまって散布す

ると効果が高くなる。散布後、半日〜1日あれば定植できます。



定植

定植目標を10月1日として作業を進める。早めの定植は、春の芽立ちの安定につながると思われます。定植が遅れると冬の寒さに耐えられず、春の芽立ちの悪化につながります。

暮れ植えの苗は、大株の方が良い。若苗で遅植えの場合は、春の芽立ちが非常に悪くなります。

定植は苗作りとも関連しているので、苗作りにも力を入れて、10月10日までには、定植を完了する。

9月咲きの管理

管内全域でダニが発生しています。3日ごとにダニ剤の散布を3〜4回程度集中して行ってください。

ダニ（ローテーション散布）
成虫、幼虫に効果のある農薬

卵にも効果のある農薬（2回）

*3日おきに散布

主な使用農薬

（卵・幼虫）

オサダンフロアブル・テデオ

ン乳剤・ピラニカEW・ダニカッ

ト乳剤

（幼虫・成虫）

カネマイトフロアブル（出蕾

時に散布すると薬害の恐れあり）

・マイトコーネフロアブル・ピ

ルク水和剤

スリップス（アザミウマ類）

蕾の中にスリップスなどが入りますと防除が困難になり品質が低下しますので、開花の早い品種から防除を徹底してください。

病害虫防除

白さび病

予防のためにジマンダイセンフロアブル及びダコニール1,000の混合剤を1週間に2回程度散布する。発病したらダイセンステンレスを散布する。

病害虫防除

病害虫防除の徹底に努めます。

10月咲きの管理

管内ではすでにダニの発生が見受けられます。発生状況に応じた防除を行いましょ。

主な使用農薬

ジェイエース水溶剤・ハチハチ

乳剤・コテツフロアブル・テルス

ターフロアブル

オオタバコガ

オオタバコガは花芽を食害し、

被害を及ぼします。

主な使用農薬

ライピンフロアブル・ガードジェツ

ト水和剤・ロムダンフロアブル・

アフアーム乳剤・スピノエース顆

粒水和剤・プレオフロアブル

スプレーギク

9月の作業は、草丈が30cmくらいで電照を打ち切ります。打ち切り時には、ダニの予防剤としてニツソラン水和剤を散布してください。



夏菊の
栽培・出荷を
始めてみませんか？

9・10月は来年度へ向けての圃場作り、定植時期です。営農指導員、または生産者指導員がしっかりと指導に当たりますので、栽培方法についてはご安心ください。本年度より出荷体制が変わりました。更なる労力軽減が図られておりますので、始めての方でも負担は少なくなっております。

菊栽培に興味のある方は、お気軽にご連絡ください。担当指導員が応対いたします。

菊栽培についての連絡先

営農特産課 ☎ 65-11251

花卉集出荷場 ☎ 87-0453

J A 各支店

